



愛の手であなたをつつむ 被害者支援

会報 ふくしまの空

発行 社団法人ふくしま被害者支援センター
〒960-8002 福島市森合町 14-6 第三トヨタビル2F
事務局 TEL&FAX 024-533-7830

巻頭言

“犯罪被害者等早期援助団体”の指定を受けて

(社)ふくしま被害者支援センターは、7月で満2年となります。この間、福島県警察初め多くの県民の皆様方のお力添えをいただき、約340件に及ぶ相談や支援を行ってまいりました。

このような活動ができましたのは、被害者等支援活動に深いご理解と温かいご協力をお寄せくださいました皆様方のおかげであることにつきまして、改めて厚く御礼を申し上げます。

これまで寄せられました相談や支援の内容から感じますことは、詳細は遠慮させていただきますが、ある日突然に、全く予期しない被害を受けたことにより、被害者等の多くの方は

- ・茫然自失の状態に陥り、ある時は放心状態が続く
- ・あのとき頼まなければよかった、予め注意をすればよかった等、強い悔悟・自責の念に苛まれる
- ・被害の原因である事件事故の推移と裁判を含めそれらへの対応を余儀なくされる
- ・加害者側との折衝や加害者への激しい感情の起伏が生じる
- ・死亡事故事件においては、亡くなった家族への熱く強い想いが続いていく

等の事柄が、長い時間をかけて或いは繰り返し、時には浅くそして時には深く被害感情となって続き、生涯消えることのない被害となっていく様子が感じ取れるのであります。

被害を受けるということは、その内容や感じ方に程度の差はあっても、大変残酷なものであり、大きな苦痛を伴うものであることを共通の認識として理解し、被害者を真に支え合える地域社会を形成していくことが必要であると強く感じております。

私たち、(社)ふくしま被害者支援センターは、去る3月10日福島県公安委員会から、“犯罪被害者等早期援助団体”の指定をいただきました。その詳細は別に記載のとおりですが、大きな効果としては被害者等の同意を得たうえで、犯罪被害の直後から、支援活動を開始することができることとなっています。

このことは、先に述べましたように、被害直後の「茫然としている状態」にある時点から、被害者等の合意があれば、支援援助活動がスタートできることとなり、被害者等の被害の早期軽減や被害の早期回復にとっては大きな力になるものと確信しています。

いま、(社)ふくしま被害者支援センターでは、理事長以下16名の理事、監事の管理の下に、38名の支援活動員が相談・支援活動を担当しております。いずれの支援活動員も豊富な人生経験を持ち、支援活動員としての研修を積んできておりますので、多様な相談や支援要請に対処できるものと思っております。

しかしながら、犯罪被害者等早期援助団体の指定の重みを真摯に受け止めれば、県内唯一の民間支援団体であるという誇りを持ちながら、全国いずれの被害者支援センターにも劣らない、真に被害者等に寄り添った、より高い質の支援援助活動を提供できるよう、そして200万福島県民にとって安全安心の一つの拠り所となれるよう、懸命な努力を重ねていかなければならないと決意を新たにしているところでございます。

皆様におかれましても、(社)ふくしま被害者支援センターの現状と今後の活動にこれまで以上の関心をお寄せいただき、一層のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。



3.10 指定書交付式の状況



“犯罪被害者等早期援助団体” 指定の効果について

(社)ふくしま被害者支援センターは、去る3月10日、念願だった「犯罪被害者等早期援助団体」の指定を受けました。

この指定の仕組みは、都道府県公安委員会が「犯罪被害者等の被害の早期軽減に資する事業を適正かつ確実に行うことができると認められる非営利法人」に対し、指定を行うことができるとされています。

犯罪被害者等早期援助団体が行う事業は、法令上次の4つの項目とされています。



指定書

- 1 犯罪被害者等の支援に関する広報活動及び啓発活動を行うこと
- 2 犯罪被害等に関する相談に応ずること
- 3 犯罪被害者等給付金の支給を受けようとする者が法令の規定に基づき行う裁定の申請を補助すること
- 4 犯罪行為の発生後速やかに、かつ、継続的に、犯罪被害者等に対し、物品の供与または貸与、役務の提供その他の方法により援助を行うこと

そして更に、犯罪被害等を受けた直後の被害者は、混乱やショック状態にあって、自ら必要性を判断して援助を要請することが困難な場合等があることから、犯罪被害者等早期援助団体から被害者に対して能動的にアプローチして援助ができるよう、警察本部長等は、犯罪被害者等早期援助団体に対し、犯罪被害者等の同意を得て、当該犯罪被害者等の氏名及び住所その他当該犯罪被害の概要に関する情報を提供することができることとされています。

つまり、犯罪等の被害に遭った被害者等の同意を得たうえで、被害の直後から支援活動を開始することができることにより、被害等を軽減及び回復を図ろうとするためのシステムなのです。

被害者等の辛く苦しい想い、癒されることはあっても消え去ることのない長い苦痛に対し、早い段階から寄り添い、被害者等が求めることを支援することによって、受けた被害が多少なりとも軽減され、その活動が地域社会に理解されていくなれば私たちの活動は、社会的に必要不可欠な意義深いものとなっていくものと信じています。



平成21年度 第1回

社団法人ふくしま被害者支援センター通常総会

が開催されました。

1 役員の選任について

当センターの副理事長である、県弁護士会会長が交代したことから、新副理事長に松平敏郎氏が就任しました。



通常総会の状況

2 平成20年度の決算報告について

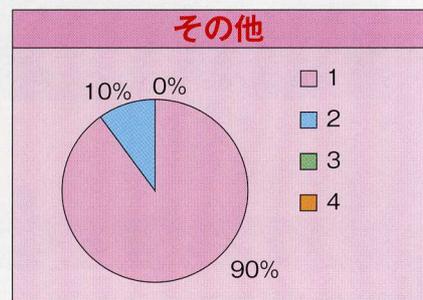
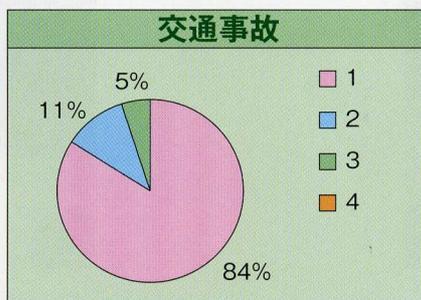
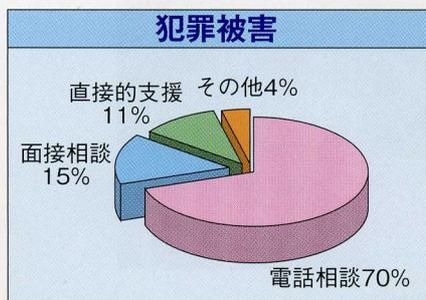
・収入	補助金、助成金収入	4,380,000円
	賛助会員会費、寄付金等	11,173,971円
	雑収入	34,117円
	計	15,588,088円
・支出	事業費支出	8,611,145円
	管理費支出	6,947,730円
	計	15,558,875円
・単年度差引額		29,213円

※この1年間に、個人、企業、団体等の賛助会費会員1,668名、ご寄付を戴いた方、285名等でありました。
「犯罪被害者等早期援助団体」の指定を受けたことにより、直接的支援活動が増加すると思われます。

3 平成20年度 事業報告

平成20年度電話相談等取扱状況

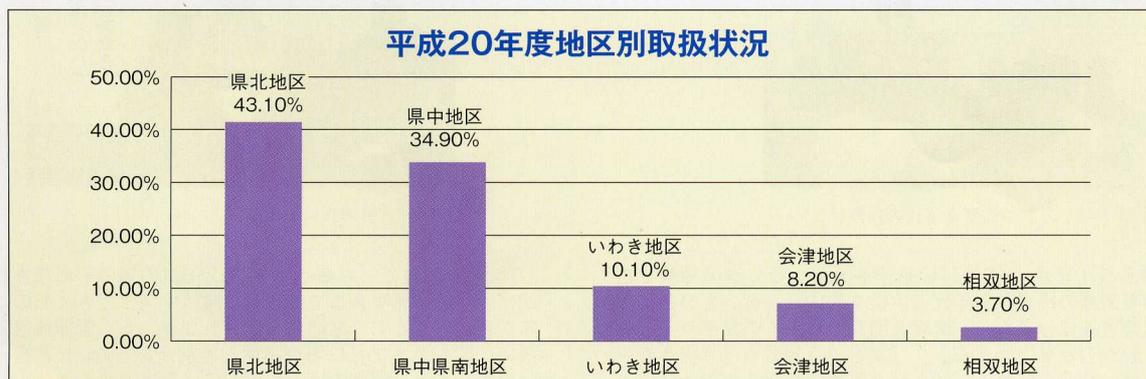
	相談種別	犯罪被害	交通事故	その他	計
1	電話相談	50	31	43	124
2	面接相談	11	4	5	20
3	直接的支援	8	2	0	10
4	その他	3			3
5	合計	72	37	48	157



※その他には、借金返済に絡む民事問題・土地境界線問題等

平成20年度地区別取扱状況

居住別	県北地区	県中地区	いわき地区	会津地区	相双地区
%	43.10%	34.90%	10.10%	8.20%	3.70%



※取扱は中通りに集中していました。

4 平成21年度特別事業計画について

(1) ～被害者に優しい「ふくしまの風」運動～県警察本部との共催事業～

ア 「命の大切さを学ぶ教室」の実施

- 時期 6月～11月
- 場所 福島県内28の中学校及び高等学校
- 内容 被害者支援に関する講演会

イ 「命のメッセージ展」の実施

- 日時 平成21年11月22日及び23日（祝日・月曜）
- 場所 福島市 福島県文化センター 3階展示室
- 内容 メッセンジャーを展示して被害者の心情を訴える

ウ 「犯罪被害者支援」講演会の開催

- 日時 平成21年11月23日（祝日・月曜）
- 場所 福島市 福島県文化センター 小ホール
- 内容 (1)被害者遺族による講演会（鈴木共子さんを予定しております。）
(2)福島県警察音楽隊による演奏会

(2) 大学生を対象とした「被害者支援に係る講義と社会参加活動の促進」県警察への協力事業

ア 主旨

- 大学・短期大学生の様々な社会活動への参加は、社会人の人間形成及び知識を身につける場として有効であり、犯罪被害者等支援に関する社会参加の機会を提供することは重要である。そこで、大学と警察や民間支援団体がネットワークを構築して、犯罪被害の実態、生命の大切さ、そして被害者支援の必要性と重要性について一層の理解を深めるための機会とする。
- 当センターが県警察と共催し、県内に犯罪被害の実態や理解を深める活動を積極的に実施して、社会全体で被害者を思いやり、支え合う気運の醸成を図る。

イ 対象大学（実施が決定された大学等）

桜の聖母短期大学・福島大学・福島学院大学

ウ 講師

- 事故被害者遺族
- 事件被害者遺族



5月21日 桜の聖母短期大学
「命の大切さを考える」授業
講師 福島県警察本部県民サービス課
警部補 松崎強様



5月27日 福島大学
（社）ふくしま被害者支援センター
事務局長 橋本榮一氏が
「心に寄り添った」被害者支援の必要性を話した。



福島学院大学での事故被害者遺族の講演状況



犯罪被害者遺族による講演

2年前、当時高校1年生（15歳）の息子を大型トラックの事故で亡くされた被害者遺族の母親が同年代の生徒の前に、「会いたいという気持ちは、私達遺族だけでなく、卓君と関わった多くの友達が今でも思っている。しかしありません。」「車という凶器をどう扱うか。意識が変われば、社会も変わる。」と交通事故の悲惨さを訴えた。

13年前、16歳だった娘さんを同じ16歳の男の子に殺された遺族の母親が、「娘は顔写真まで出され、誹謗中傷までされたのに、犯人は少年だということで、名前すら出されなかった。犯罪被害者と犯人との扱いに関してあまりにも理不尽な差別があった。」と被害者遺族の立場の苦しさ、周囲の人々の理解の必要性を訴えた。

賛助会員等のご紹介

(21.3.18~21.3.31)

次の方々から、賛助会員としての会費及びご寄付をお寄せいただきました。
本当にありがとうございました。(敬称略)

個人賛助会員及び正会員

遠藤 道雄 佐藤 英勝 佐藤 芳則 生島 浩 志賀 則夫 鈴木 昭佐 武田 弘之
根本 文弘 平田 京子 藤原 正子 水谷 浩美 山口 充 湯田 健一 渡辺 幸樹
14名

企業・団体賛助会員及び正会員

会津飯豊農協	会津信用金庫	会津飯豊農業協同組合
会津信用金庫	医療法人いわき開成病院	いわき自家用自動車組合
いわき大王製紙(株)	磐城通運(株)小名浜支店	(株)会津ゼネラル
(株)荒井組	(株)おおいまわしなりー	(株)呉羽生産本部
(株)佐賀工務店	(株)第一印刷	(株)ダイユーエイト
(有)高林木材店	(株)東邦銀行	(株)利根川組
(株)福島銀行	(株)増子商事	(株)みよ乃木工
(株)ヨークベニマル	(助)福島県警備業協会	(助)暴力団根絶県民会議
佐藤工業(株)	(社)福島県歯科医師会	(社)福島県防犯協会連合会
J A 福島中央会	ジェネファ東北(株)	だいわ商事(株)
日本化成(株)	東日本旅客鉄道(株)	福島あづまライオンズクラブ
福島経済同友会	福島県経営者協会連合会	福島県商工会議所
福島県商工会連合会	福島県消防協会	福島県精神科病院協会
福島県精神神経科診療所協会	福島県精神保健福祉士会	福島県中小企業団体中央会
福島信用金庫	福島トヨタ自動車(株)	福島日産自動車(株)
富士通アイソテック(株)	ホテル華の湯	

47 法人・団体

寄付された個人

芦間 進兵 井上 信之 熊田 和夫 佐藤 和人 鈴木 一郎 渡邊 和代

寄付された企業・団体

いわき小名浜ロータリークラブ
サンニー会 (代表 岡部 登) (社) (医) 容稚会
相馬警察署
福島県民共済生活協同組合
三春警察署刑事生安課



ニュースの陰にかくれた 被害者のことを思っしてほしいのです

毎日、毎日、事件や事故が起きています。
次々と忘れられていくそのニュースの陰で、
被害者は何ヵ月も何年も苦しんでいるのです。



誰にも言えず、独りで悩み、苦しんでいる被害者や家族の方が大勢います。
あなたの近くにもいるかもしれません。

新事務局長 橋本 榮一氏の紹介

出身地は、会津若松市町北町です。「ならぬものはならぬ」の会津魂を叩き込まれて青春時代を過ごされたそうです。

前歴は、警察官で主に交番等の地域活動・警察職員の教育を担当する教養部門等で39年間奉職し出身地の会津若松警察署を最後に退職されております。

趣味は、現在「福島走ろう会」に加入しており、定期的にメタボ解消？に向け奮闘中とのことです。

橋本局長から 賛助会員、ご寄付をされる方々へのメッセージ

犯罪被害者の「心の寄り処」となれる支援センターを作っていきたいと考えております。また、賛同されます皆様の「支援の輪」を広げていくために、是非、「口こみ」での「支援の輪」の拡大に向けたご協力をお願いいたします。なお、当センターへのご意見、ご叱正をお待ちしております。



賛助会員募集中

当センターの活動資金の60%超は、皆様方の賛助会費・寄付金により運営されております。

年会費	個人 / 1口	2,000円より
	法人・団体 / 1口	10,000円より

《加入申込み・問い合わせ先》

福島県公安委員会指定

「犯罪被害者等早期援助団体」

社団法人ふくしま被害者支援センター

事務局 TEL・FAX / 024-533-7830

※なお、「ご寄付」についての、金額は問いません。

事件の影に隠れた被害者の

心に寄り添った支援をしまります。

愛の手で あなたをつつむ 被害者支援

相談受付電話

☎024-533-9600

相談・支援受付時間

月曜日～金曜日

…午前10時～午後4時

祝祭日、年末年始は休ませていただきます。

※面接相談・直接的支援は事前予約が必要

福島県公安委員会指定

「犯罪被害者等早期援助団体」

社団法人ふくしま被害者支援センター

〒960-8002

福島市森合町14-6 第二トヨタビル2F
(福島中央郵便局向かい)